



国・県・市の施策

- 学校の強み・生徒のよさ
- ・真面目で誠実な生徒
- ・自治精神に富む生徒会活動
- ・合唱への高い誇り
- ・特別支援教育拠点校
- ・地域の温かな支援



保護者・地域の願い

- 教育課題解決に向けて
- ・「キャリア・プランニング能力（なりたい自分になる力）」を高めたい
- ・「自己肯定感」「自己有用感」を育み、高めたい

第四校区 小中一貫教育目標
 社会の中で主体的・協働的に生きる力
 <第四校区の子供が15歳段階までに伸ばしていく資質・能力>
 言語活用能力・自ら行動する力・人と関わる力

Plan

第四中学校教育目標
社会人基礎力を備えた人

第四小学校教育目標
 思いやる心 学び合う力 たくましい体
 ～ やさしく かしく たくましく ～

「学び」の深まり

- 教科1-1-1-(1)-1
- ・言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力の育成
 - ・問いを発見し主体的に向き合う探究的な学習
 - ・対話を通じて他者の考えを取り込み考えを広げる
- 総合的な探究の時間1-2-1-(3)
- ・人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題適応能力、キャリアプランニング能力の育成
 - ・「職業」を柱としたキャリア教育
- 【授業内容がより理解できている 90%】
 【友達との対話や資料を活用しよい答えを出す 85%】
 【将来の夢を持っている 100%】

「言語活用能力」
 「小中「伝える力」「こころを伝える力」を「つなげる」

「学び」の基盤

- 道徳科 1-2-4-(1)-1
- ・多様な価値観が表れる問い
 - ・「ちよびりよい自分」の発見
 - ・「やってみようかな」という思いの醸成
- 学習環境1-1-3-(1)-1
- ・UDを意識した授業（視覚化）、ICT活用
 - ・自律した学習者
- 【「互いを思いやる心・違いを認め、許し合う心」について実践できた 90%】
 【ICTを日常的に活用する授業 90%】

創造・感動・実感

人権尊重の精神

Do

自己理解、自己肯定感、自己有用感、自己指導能力

Action

「生活」の創造

- 特別活動1-2-4-(1)-1
- ・生徒会活動、学校行事
 - 生徒自身が作り上げる学校祭、生徒会活動（非認知能力の育成）
 - ・学級活動
 - 互いの考えを認め合える人間関係づくり
- 【行事や係の仕事などに進んで取り組んでいる 90%】
 【伝統ある誇り高い四中を継承しようと努めている 80%】

自己実現

「自ら行動する力」
 「人と関わる力」

「生活」の基盤

- 生徒指導1-2-3-(1)
- ・自己決定
 - 夢や目標の実現のため、自分で決定し実行する
 - ・自己有用感
 - 自分が役に立ち価値ある存在だと実感する
 - ・共感的な人間関係
 - 自分の考えを伝えるとともに、互いに尊重し合う
- 【自分が仲間から必要にされているという実感を持っている。80%】
 【生命を大切にし、男女が互いに尊重し合う生活ができている。90%】

Check

評価「さみどり」（三つの見取り）

見る <気づく> 観る <思いや感情を察する> 診る <総合して解釈し、判断する>

校内研修の充実 学び合い高め合う教師集団

研修テーマ 生徒の主体的・協働的な思考を促す問いの設定 1-1-3-(1)

<教師としての矜持と使命感> 学び続ける教師・信頼される教師

小中一貫教育=9年間の積み上げ
 豊かな人間性の涵養 創造的学力の積み上げ

知識・理解思考（教科）+論理的思考+創造的思考（総合）+道徳教育+体験活動
 日々の体験を土壌にした基礎力の育成（第四小）→ 知識・経験を足場にした豊かな創造力（第四中）

カリキュラムマネジメント:重点化を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動の推進
 目標に対する自己の変容を振り返り、子ども自身が自らの成長を実感できる場の積み重ね